

（文書質問）

第22条 議員は、政策、施策等をより深く理解するために、会期中又は閉会中にかかわらず、議長を経由して市長等に対して文書により質問することができる。この場合において、市長等は、文書により回答を行うものとする。（市長等による政策等の形成過程の説明）

第23条 議会は、市長等が提案する重要な政策、計画、施策、事業等（以下この条において「政策等」という。）について、議会審議における論点を明確にするため、市長等に対し、次に掲げる事項の説明を求めることができる。  
(1) 政策等を必要とする背景  
(2) 提案に至るまでの経緯  
(3) 総合計画における根拠又は位置付け  
(4) 他の自治体の類似する政策等との比較検討  
(5) 市民参加の実施の有無及びその内容  
(6) 関係法令及び条例等  
(7) 政策等の実施に係る財源措置

(8) 将来にわたる効果及び費用（予算及び決算における政策説明資料の作成）

第24条 議会は、市長が予算案及び決算を議会に提出し、議会の審査に付すに当たっては、市長に対し施策別又は事業別の分かりやすい政策説明資料を作成し、説明するよう求めることができる。

第6章 議員定数及び議員報酬

（議員定数）

第25条 法第91条第1項の規定に基づく議会の議員の定数（以下この条において「議員定数」という。）は、議会制民主主義における重要な要素であることに照らし、市民の意見が市政に十分に反映され、住民自治を実現することができる数とする。

2 議会は、議員定数の改定に当たっては、十分な審議時間を確保し、議会改革の本旨を踏まえた、市政の現状、将来の予測等を考慮し、市民の意見を尊重した上で、検討するものとする。

3 議員定数は、足利市議会

員定数条例（平成14年足利市条例第32号）で定めるものとする。

（議員報酬）

第26条 議会は、議員報酬の額の改定を行うに当たっては、足利市特別職報酬等審議会条例（昭和39年足利市条例第53号）第2条に規定する足利市特別職報酬等審議会の意見を尊重するものとする。

2 議員報酬は、特別職の職員等の給与に関する条例（昭和26年足利市条例第14号）で定めるところによる。

第7章 議会の補助的機構等

（議会図書室）

第27条 議会は、議員の政策立案能力等の向上及び調査研究の推進のため、法第100条第19項の規定により附置する議会図書室の充実に努めるものとする。

2 議会図書室の運営に関し必要な事項は、足利市議会図書室規程（昭和27年5月10日公布）で定めるものとする。

第28条 議会は、議員の政策立

案等の能力向上を図るため、議会事務局の調査及び法務機能の充実強化を図るよう努めるものとする。

第8章 最高規範性及び検証

（最高規範性）

第29条 この条例は、議会における最高規範であつて、議会は、この条例の趣旨に反する議会の条例、規則等を制定してはならない。

（達成状況の検証）

第30条 議会は、一般選挙後、速やかに、この条例の目的が達成されているかどうかについて、議会運営委員会において検証するものとする。

2 議会は、前項の規定による検証の結果に基づき、この条例の改正を含む適切な措置を講ずるものとする。

附則

この条例は、平成25年6月19日から施行する。

◆平成25年8月1日発行の市議会だより（第325号）に掲載

「道の駅」の建設を！



みらいクラブ  
中島 由美子  
議員

**問** 「道の駅」は、一つの総合的な産業であると考え、商業、農業、観光など多岐にわたり、本市の活性化を図る重要な事業と位置付ける。一日も早い建設を切望するが所見を聞きたい。

**市長** 各地の「道の駅」では、休憩や情報発信の機能に加え、地域の連携機能として、その地域の文化や名所、特産品等を活用した多様なサービスが提供されている。今後、市議会と協議をしていきたいと考えている。



▲「道の駅」の機能

**問** 熱、光、かおり、音を感じるといった「五感」や「感覚環境」をキーワードに、新しい視点から心地よい暮らしを実現していく「まちづくり」が芽生えつつある。本市観光においても「見る」「食べる」「遊ぶ」などを感覚の視点で工夫することにより、リピーターも増えるかと

える。「五感覚」を観光戦略に取り入れるべきと思うがどうか。

**産業観光部長** 「感覚環境」によるまちづくりについて、環境省が提唱している。これは、五感を十分に使った個性あるまちづくりについてであるが、今後本市においても五感の新しい切り口で観光施策を検討していきたいと考えている。

**問** 風疹は、妊婦が感染すると「先天性風疹症候群」として心臓病、白内障、聴力障がいなどの障がいを持つ子供が生まれる可能性が高いとされる。県内多くの市町が、成人向けに接種の助成を始めたが、本市でも実施すべきと考えるが所見を聞きたい。

**市長・福祉部長** 妊婦への感染を抑制するためには、予防接種を受けることが最も効果的な対策である。子育て世代で予防接種の機会がなかった方を対象とした予防接種の助成は、市民の健康を守る上で大変重要であると認識している。また、罹患者が増加していることから、感染の拡大を予防するため、足利市医師会と協議を進め、できるだけ早く要望にこたえられるよう前向きに検討していきたい。



ピロリ菌の検査・除菌に公費助成を！



公明党議員会  
平塚 茂  
議員

**問** 胃がん防止対策のために、原因とされるピロリ菌の検査・除菌は有効であると考えられる。ピロリ菌ABCリスク検査事業の拡充や検査費用の公費助成、中学生・高校生へのリスク検査を無料で実施すべきではないか。

**福祉部長** ピロリ菌検査の拡充については、試行的に実施した検査の結果を十分検証する中で、足利医師会と協議しながら検討していきたい。検査費用の公費助成については、今回の試行に伴い、検査料が3千円のところ、市で2千700円の助成をする。また、中学生・高校生への検査の無料実施については、学校における健康診断の検査項目にピロリ菌検査は入っていない。今後、必要性について研究していく。

**問** 市内各所で、台風や集中豪雨で浸水する箇所があるが、現状の把握と改善策について聞きたい。また、毛野新町では、毎年のように道路に水があふれてしまう。原因と対策について聞きたい。

**都市建設部長** 現状把握については、集中豪雨や大型台風等で発生した浸水箇所は17箇所、そのうち本市の管理する道路の冠水は83箇所

○元気高齢者施策について

- ・介護支援ボランティアポイントの導入

○健康施策について

- ・ピロリ菌の検査、除菌の推進
- ・成人風疹ワクチン接種の推進

○防災対策について

- ・竜巻対策
- ・大型台風や集中豪雨による市街地溢水対策

○教育・保育環境整備について

- ・学校、保育所の校庭・園庭の芝生化
- ・普通教室のエアコンの設置

**政策倶楽部代表質問**

**小林 雅明 議員**

○市長の政治姿勢について

- ・市長選挙
- ・市長選挙における公約と所信表明

**個人質問**

**尾関 栄子 議員**

○市長の政治姿勢について

- ・憲法を暮らしに生かし、地方自治法にのっとった市政

○産業対策について

- ・地域経済の活性化対策

